2021年10月25日発行　ホームページ　http://www.shoutenzui.com／又は、「しょうてんずい」で検索

昭天瑞民商だより

昭和天白瑞穂民主商工会
名古屋市瑞穂区大喜新町2-4
TEL:052-889-6611
FAX:052-889-6610

選挙に向けて、インボイス制度《公開質問状》

インボイス制度の実施で事業の継続が困難になる状況に関しての公開質問状

2023年10月1日から施行されるインボイス制度は消費税の仕入税額控除の要件として、税務署から付番された登録番号が記載されたインボイス【適格請求書】が無ければ控除が認められなくなります。フリーランスや個人事業主などの免税業者は、自ら課税業者になって新たな消費税負担を強いられるか、インボイスを発行できず取引から排除されるか、厳しい選択を迫られています。また、課税業者も下請け業者や外注先・仕入れ先などの免税業からインボイスをもらわない場合は消費税の納税額が増大するなど、今後の取引関係にも影響する恐れもあります。現在も新型コロナウイルスなどの影響により、休業を余儀なくされている業者も多く、危機的な経済情勢下において、中小零細業者に対して不利益となるような公平性を欠く税制はあってはならないことと考えます。

上記の質問状を共産党、自民党、公明党、立憲民主党、国民民主党、日本維新の会の6政党と愛知3区、4区の候補者5名に同様のものを送付したところ、回答があった政党は共産党、自民党、候補者は立憲民主の3区・近藤昭一氏、4区・牧義夫氏です。

自民党はインボイス制度の実施に賛成と回答した上で、免税業者の取引からの排除等を懸念して段階的に行うと回答。**一方、共産党、立憲民主の2候補者は制度そのものにNOをつきつけ、インボイスを導入する事は税金の負担を増やし、中小零細業者の生活を脅かすと強く反対しました！**

平針駅前で【消費税5%に戻せ!】拡大統一行動

10月17日(日)に平針駅バスターミナルとピアゴ周辺で消費税署名の拡大行動を行いました。当初は、インボイス制度の反対行動を計画していましたが、公示日の2日前ということで【消費税を5%に戻せ!】の署名&マイク宣伝をおこない、全商連5つの要求や消費税各界連の要望書などを読み上げました。土曜日までは暖かったのに、うってかわって当日は急に冷え込み曇り空の中で、人通りも少なく不安もありましたが、署名に宣伝にと動いていると心も体も温まり、逆に暑いくらいでした。役員・会員総勢16名で50筆の署名を集めました。行動に参加された方は「少ない人数でやるより、大勢で集まって行動するのが楽しい」と感想を口にし、「また定期的にやりたいね」とも話していました。